

令和2年11月 日

小諸市長 小 泉 俊 博 様

小諸市総合計画審議会  
会長 西 村 廣 一

小諸市総合計画について（答申）【素案】

令和2年10月2日付2企第240号で諮問のあった標記の件について、当審議会では3回にわたり慎重に審議を重ねた結果、第11次基本計画案の内容については基本的に妥当であると認められますので、その旨答申します。

ただし、本文中において、文言の重複や表現が統一されていない箇所等については、市民にとって分かりやすい表現となるよう意識し、最終的な調整をお願いします。

なお、計画を推進するうえでは、次の事項について十分配慮されることを要望します。

記

- 1 第10次基本計画の策定から運用にかけて推進してきた取り組みを継続・発展させて、「計画、予算、評価、人事」といった、行政をマネジメントする様々な制度や仕組みが連携し、一連のものとして機能する「トータル・マネジメント・システム」の進化を図り、更なる「行政経営の質」の向上に取り組まれない。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に財政収支の不均衡が生じているため、来年度に策定を見送った「財政計画」については、運用段階においても、財政規律のメカニズムを重視し、予算の裏づけのある政策選択を行うとともに、財政の健全化が図られるような計画とされたい。
- 3 第11次基本計画より新たに計画に盛り込む「SDGsの推進に向けた取り組み」については、行政としての取り組みだけでなく、その取り組みが市民に広がるような広報や周知についても工夫されたい。
- 4 各部局において、策定・所管する個別・分野別の計画については、引き続き、総合計画との整合性に留意するとともに、改定の時期や計画期間を総合計画に合わせるなど、継続的に連動性の向上を図られたい。

- 5 一つの部署では対応が困難な政策課題に対して、計画に基づいた組織全体としての対応に努めるとともに、実績の評価や改善策の検討においても、各部署の具体的な役割分担と連携を常に意識されたい。
- 6 総合計画（基本計画）は、計画策定後いかに運用するかが重要である。特に、実績の評価と改善策の検討を重視し、実績の評価については、内部評価の段階より「経済性・効率性・有効性」といった観点から厳格なチェックを行い、着実な改善策の検討に努められたい。また、その結果や改善策を審議会や市議会へ報告・説明することにより、行政の説明責任を果たすとともに、評価結果が広く一般市民に伝わるように工夫されたい。
- 7 基本計画に基づいて策定される実施計画についても、「実施計画は基本計画の政策・施策を実現する手段である」という位置づけを常に意識し、上記6と同様の観点から、実績の評価とその結果に基づく毎年度の見直しを行い、継続的に実効性の向上を図られたい。
- 8 「市長公約」の「こもろ未来プロジェクト2020」については、市長任期と一致させた第11次基本計画の計画期間内において着実な進捗を図られるとともに、上記7の実実施計画運用の取り組みの中でも目指すべき将来像を見据え、「健幸都市こもろ（小諸版ウェルネス・シティ）」が市民にもわかりやすい形で事業が展開されるよう、工夫されたい。
- 9 基本計画推進の基盤となる市職員の能力向上のため、総合計画及び行政経営に対する市職員の意識向上に努めるとともに、計画内容を確実に推進するための組織体制を整備し、行政全体で運用を図るよう組織的に取り組まれたい。
- 10 基本計画における各政策及び施策を展開するにあたり、市職員はもとより、多くの市民が「わがまち小諸」をよく知り、魅力を感じ、その魅力を自分たちで市内外へ情報発信していくような活動につながる仕組みづくりについて、工夫されたい。

小諸市総合計画「第5次基本構想」で掲げる小諸市の将来像は、「住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸」です。是非、この将来像を実現すべく、小諸らしい計画推進を切にお願いします。

以上